

年 組 名前:

気象 今年の漢字は「惑」

4年ぶり気温40度超

梅雨明け大幅修正

2022年山梨気象トピックス

- ・富士山の日(2月23日)に、富士山頂の最低気温が氷点下22.3度を観測(2月)
- ・富士山レーダードーム館リニューアル(3月)
- ・線状降水帯発生の予報開始(6月)
- ・速報で最速の梅雨明け(6月27日)が、確定で修正され幻に(9月)
- ・6月下旬に猛暑、各地の最高記録更新、熱中症搬送数も最多(6月)
- ・勝沼で40.2度を観測。40度超えは4年ぶり(7月)
- ・避暑地の山中湖で33.6度を観測。観測史上1位を更新(8月)
- ・八ヶ岳南麓で局地的大雨、八ヶ岳高原ラインがしばらく通行止めに(8月)
- ・台風14号、15号が相次いで接近。15号は静岡で大雨災害(9月)
- ・暖かい秋、甲府の秋(9~11月)の平均気温が観測史上2位の高さ(9~11月)

NNS、県内トピックス選定

気象情報室の保坂室長は特に印象に残ったトピックとして、6月以降の暑さを挙げた。6月は最高気温の記録を県内6観測地点で更新。7月1日に勝沼などで4年ぶりに最高気温40度超えとなった。山中湖では8月2、3の両日に最高気温が33.6度となり、観測史上1位を記録。秋

NNS日本ネットワークサービス気象情報室は、2022年の山梨県内の気象トピックスをまとめ、県内で4年ぶりに40度超の最高気温が観測されたことなどを挙げた。梅雨明け時期が大幅に修正されたことや、過去最強クラスと予測された台風14号の勢力が急速に衰退したことなどを踏まえ、今年を表す漢字として「惑」を挙げた。

〈武田寛明〉

も気温が高く、9、10、11月の甲府の平均気温は観測史上2位タイとなった。

保坂室長は、気象庁が6月27日に関東甲信地方に史上最速の梅雨明けの速報を発表したが、9月に梅雨明け時期を「7月23日」と大幅に修正したことも挙げた。過去最強クラスと予想された9月の台風

14号の勢力が、九州上陸後、急速に衰退したことにも言及。11月8日、442年ぶりに皆既月食と天王星の惑星食が同時に観測されたことも踏まえ、今年を表す漢字として「惑」を選んだとしている。

保坂室長は「今年の夏の猛暑や、天気予報や発表に人々が惑わされた結果となった」と話した。

このほか、富士山の日(2月23日)に富士山頂の最低気温が氷点下22.3度を記録したことや、3月に富士山レーダードーム館がリニューアルしたことなども挙げた。保坂室長は「今年は県内で気象災害は少なく、比較的穏やかだった印象。来年もより穏やかな一年になってほしい」と話している。

(2022年12月25日付 山梨日日新聞22面)

問1

NNS気象情報室は、

気象からの2022年の漢字に

「惑」を挙げました。どのような気象から、この漢字を選びましたか。3つ答えてください。

-
-
-

問2

2022年、442年ぶりに何が観測されましたか。

.....